

ITセクターなどグロース株式優位の展開はまだ続く

概要

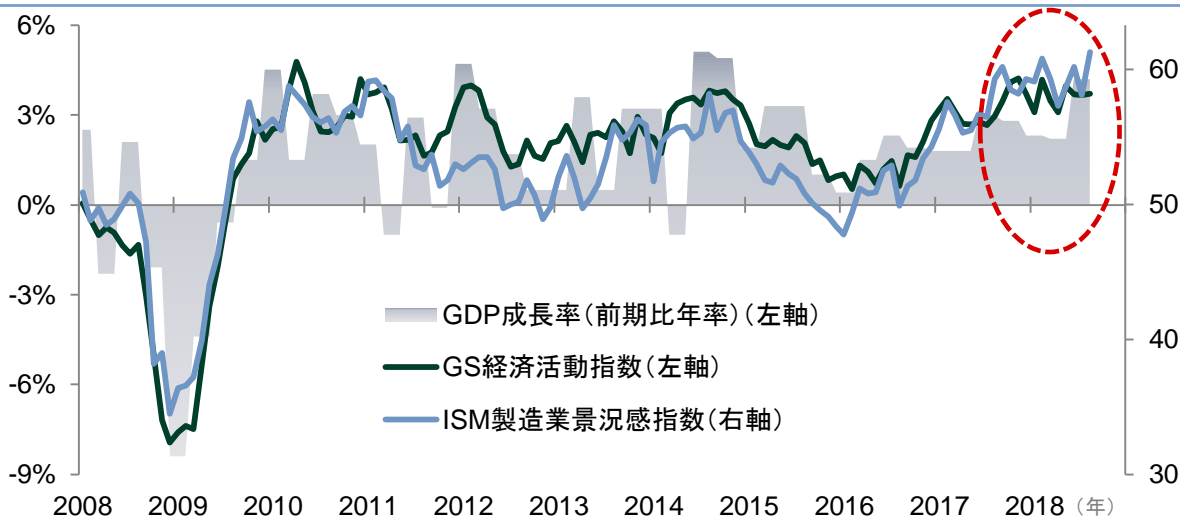
- リーマンショックから10年。成長加速する米国経済。米国株式はIT/グロース株式が牽引
- ITセクターの株価上昇は突出すれど、バリュエーション格差は広がっていない
- 世界的な低成長・低インフレの環境が演出するグロース株式優位の展開



リーマンショックから10年。米国経済は絶好調。ITセクターが株式市場を牽引

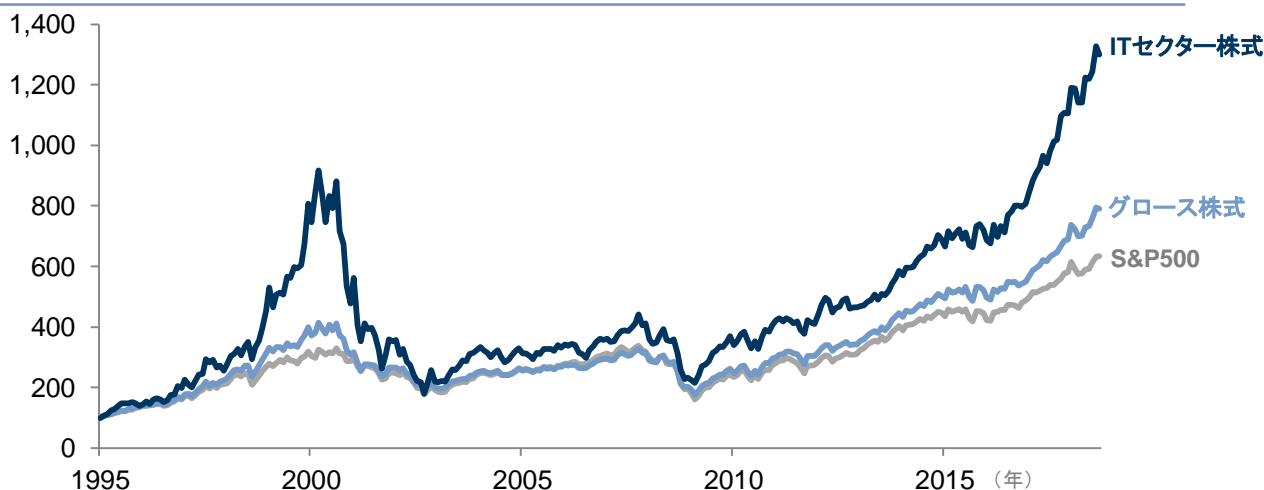
景気サイクル後期にもかかわらず、2018年第2-3四半期のGDP成長率は異例の4%台へ

米国GDPおよび景況感指数の推移



米国株式市場では、2009年3月の大底から続く強気相場は約10年。特に足元数年において、ITセクターなど高成長のグロース株式が株式市場全体を牽引する構図が、ますます鮮明化してきました。

米国株式の推移 (S&P500 / グロース株式 / ITセクター株式)



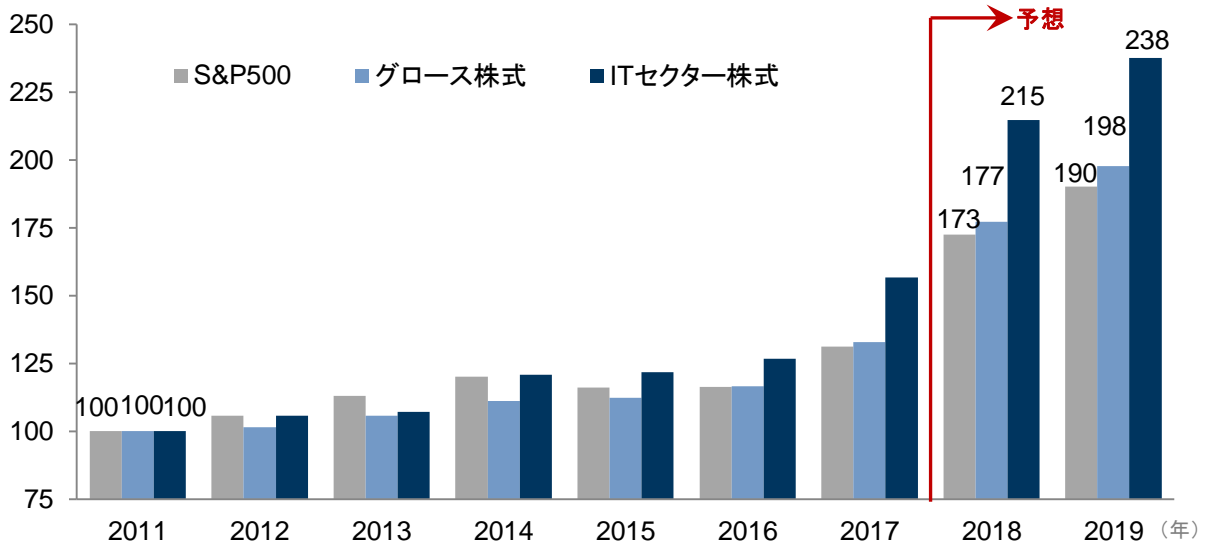


成長速度の格差が演出するIT/グロース株式優位の相場展開

ITセクターの上昇は突出すれど、バリュエーション格差は広がっていない

特に2016年以降において、ITセクターを中心とするグロース株式の利益成長率は加速してきました。2019年もIT/グロース株式の相対的に高い成長が見込まれています。

米国株式 EPSの推移 (S&P500 / グロース株式 / ITセクター株式)

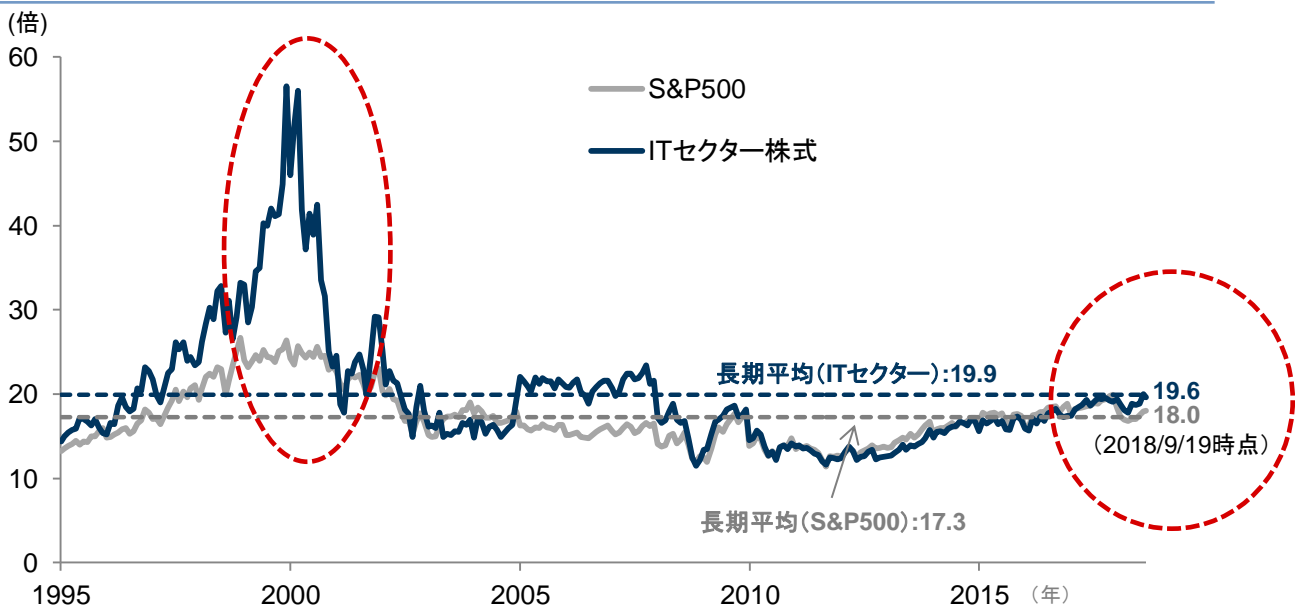


期間: 2011年~2019年(2018年以降はコンセンサス予想) 2011年を100として指数化 出所: ブルームバーグ、GSAM
グロース株式: S&P500グロース指数、ITセクター株式: S&P500 ITセクター株式指数

ITセクターの突出した株価上昇は、一見すると90年代末のITバブル相場を彷彿とさせます。しかし、当時と大きく異なる点は相対的な利益成長の格差であり、バリュエーションの格差には繋がっていません。

また、ITセクター及びS&P500いずれも長期平均並みの水準にとどまっています。

米国株式 バリュエーション(予想PER)の推移 (S&P500 / ITセクター株式)



期間: 1995年1月31日~2018年9月19日 出所: ブルームバーグ、GSAM
グロース株式: S&P500グロース指数、ITセクター株式: S&P500 ITセクター株式指数

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。弊社及びゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。© 2018 Goldman Sachs. All rights reserved. <143943-OTU-833505>



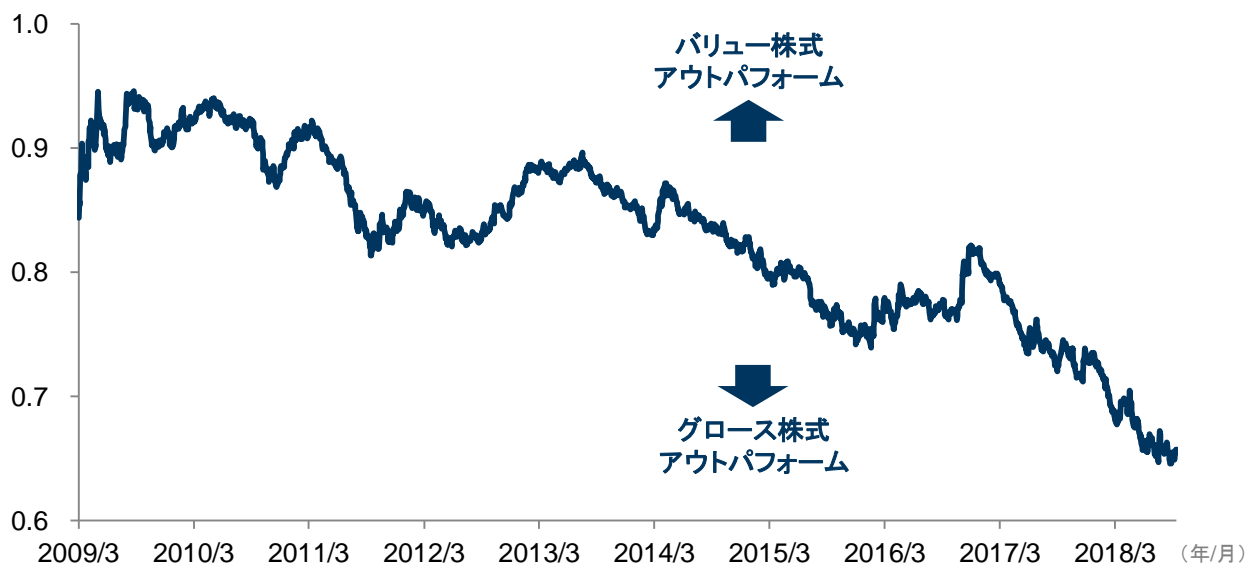
世界的な低成長・低インフレの環境が演出するグロース株式優位の展開

グロース株式優位の展開は、米国債利回りスプレッドの推移と相似形

今回の上昇相場において、グロース株式とバリュース株式の間における物色の流れの推移は、興味深いことに、米国の長短金利差(利回りスプレッド)の推移と相似形の展開が続いています。

これは、世界的に低成長・低インフレの環境が続き長期金利がなかなか上昇しないなか、投資家は経済全体の成長に対する強い確信度を持たず、より独自の成長要因を持つ構造的な成長企業に資金を集中させている可能性を示しています。

米国バリュース株式/グロース株式 レシオ推移



米国 10年債利回り-2年債利回り スプレッド推移

